

新入職員のご紹介



医療ソーシャルワーカー
中野 優

1月から地域連携室で社会福祉士として勤務させていただくことになりました。
前職は急性期病院でMSWをしていました。
急性期病院では、ご本人にとって必要な支援を短期間で見極めできる限り丁寧に調整させていただくよう心がけていました。
今後は、前職の経験を活かし、患者様とともに次の生活を作っていくところまでご支援ができるよう努めていきます。
どうぞよろしくお願いいたします。

外来診療案内

《受付は診療時間30分前までにお願いします》

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前 9:00から 12:00まで	柳川 利正	柳川 利正	柳川 利正	小沼 正和 リハビリ専門外来 深町 唯博 (完全予約制)	1・3・5週 柳川 利正 2・4週 小沼 正和
午後 13:00から 16:30まで	柳川 利正 リハビリ専門外来 深町 唯博 (完全予約制)	小沼 正和 肝臓専門外来 不眠・いびきサポート外来 志田 勇人 (完全予約制)	一般外来 休診 発熱外来 柳川 利正 (完全予約制)	柳川 利正	一般外来 休診 もの忘れ外来 山口 勇雄 13時~15時 (完全予約制)

●完全予約制の専門外来については、内科外来へ問い合わせください。

医療法人 登別すずらん病院

〒059-0027 登別市青葉町 34 番地 9

電話番号 0143 (85) 1000 (代表)

診療科目：内科・消化器内科・リハビリテーション科

診療時間：平日 午前 9:00~12:00 午後 13:00~16:30



すずらんだより

ホームページ <http://www.suzuran-hosp.or.jp>

E-mail info@suzuran-hosp.or.jp

新年のご挨拶



理事長 志田 勇人

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は登別すずらん病院に温かいご支援とご理解を賜り心より御礼申し上げます。

ここ数年、医療界全体に試練が続いています。厳しさを増す人材確保の状況、物価高騰による運営コストの増加、そして医療ニーズの多様化と複雑化。私たちも例外ではなく、日々の診療・ケアの中で直面する多くの課題に取り組んでいます。

迎える2026年は診療報酬改定の年です。医療提供体制の効率化やアウトカム重視の流れは加速し、私たち医療機関にはより一層の創意工夫と連携が求められることでしょう。限られた資源の中でも、患者様の尊厳を守り、安心と信頼の医療を提供し続けることが私たちの使命であると、決意を新たにす次第です。

例年、年頭所感では漢字一文字でその年の抱負を述べておりましたが、今年は「尊」を挙げたいと思います。「尊ぶ」の言葉から導かれるのは、命を大切にすること、人と人との関係を敬うこと、そして目に見えない価値を重んじること。私たちが医療の現場で日々向き合っている「人間の尊厳」「職業としての誇り」「互いへの敬意」がすべて含まれていると感じています。

患者様とご家族の人生を尊び、寄り添う医療を。

職員同士が互いの努力と専門性を尊び、支え合う職場を。

そして、地域の暮らしを尊び、皆さまの病院として共に歩みを。

「尊」の心を胸に、私たちは2026年も西胆振の地域医療に貢献してまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。





新年のご挨拶



院長 柳川 利正

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、地域の皆さま、患者さま、ご家族の皆さま、そして関係機関の皆さまより温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。日本製鉄名誉会長の三村明夫氏が議長を務める「人口戦略会議」の報告書によると室蘭市の人口は昨年 11 月の 73,332 人から 25 年後には 46,571 人へ、登別市の人口は昨年 11 月の 42,798 人から 25 年後には 26,963 人へと大きく減少すると予測されています。この地域の病院にとっても厳しい状況となっており、連日報道されているように地域医療を守り抜くための様々な取り組みが行われています。

登別すずらん病院は、慢性期医療(高齢者医療)を継続することで急性期病院を支え、この地域の医療体制を維持し発展させる力になれるよう努力を続けてまいります。今後も皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



看護部長 佐藤 葉子

新年あけましておめでとうございます。

平素より当院の医療・看護活動に対し、暖かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

私は昨年、看護部長を拝命し、慌ただしい一年を過ごしてまいりました。至らぬ点も多々あったことと存じますが、職員一人ひとりの支えと、関係する皆さまのご協力により、この一年を乗り越えることが出来ましたことに、心より感謝申し上げます。

当院は療養病院として、長期にわたり療養を必要とされる患者様が、安心して穏やかに過ごして頂ける環境づくりを大切にしております。看護部では「患者様の人権を尊重し、安全で思いやりのある看護・介護を提供する」ことを目標に日々の実践に取り組んでおります。

また、昨年末より、当院では外国人補助者の採用を開始いたしました。多様な背景を持つ仲間を迎える事は、患者様をより深く理解し、尊重する看護につながるものと考えております。今後も教育・支援体制を整え、チームとして安全で質の高い療養環境の提供に努めてまいります。

本年も患者様とご家族の思いに寄り添い、その人らしい療養生活を支える看護・介護の提供を目指してまいります。引き続き、皆様のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとって健やかで実り多き一年となりますことを、心よりお祈り申し上げます。



新年のご挨拶



事務長 室木 世界

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

令和 7 年度中も格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

昨年は国内で初めて新型コロナウイルスが確認されてから 5 年が経過し、登別すずらん病院でも、入院患者様との面会制限を、平日のみではありますが予約不要とするなど、コロナ禍以前の療養環境に近づけるべく試行錯誤を続けた 1 年でした。また 7 月 30 日のカムチャッカ半島付近の地震に伴う津波警報については、地域に定着した医療機関を目指す上で、多くのことを考えさせられる出来事でした。

関係省庁からのご意見も踏まえ、被害を最小限に食い止めるための実効的な訓練を行う他、万一被災した場合の医療提供体制の確保や地域のみなさまとの協力体制の構築等、今後も検討を進めてまいりたいと考えております。令和 8 年は、60 年に 1 度の干支である丙午（ひのえうま）となり、この干支は困難を切り開く力を持つといわれます。登別すずらん病院・訪問リハビリテーションすずらん・訪問看護ステーションすずらん・居宅介護支援事業所すずらんは、今年も地域のみなさまへ貢献できるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

年末年始の食事を紹介します！

今年も年末年始の特別食が提供されました。
午年だけに「ウマそう」ですね！

